

使用上のご注意とお手入れの方法

装着・携行等でご注意いただきたいこと

警告

- 携行時の転倒や他人との接触などにおいて、時計の装着が原因で思わぬけがを負う場合がありますのでご注意ください。
- 乳幼児を抱いたりする場合は、時計との接触でけがを負ったり、アレルギーによるかぶれを起こしたりする場合がありますのでご注意ください。
- 提げ時計やペンダント時計の場合は、ひもやチェーンによって大切な衣類や手、首などの身体を傷つけることがありますのでご注意ください。
- 装着状態の動作によっては、時計が大切な器物と接触損傷したり、時計の故障となる可能性があるので取り扱いには十分ご注意ください。

注意

- バンド中留部の構造によっては、着脱の際に爪を傷つける恐れがありますのでご注意ください。

日常のお手入れ

- ケースやバンドは肌着類と同様に直接肌に接しています。汚れたままにしておく
と錆で衣類の袖口を汚したり、かぶれの原因となりますので常に清潔にご使
用ください。
- 時計を外した時は、柔らかい布で汗や水分を拭き取るだけで、ケース・バンド・
パッキンなどの寿命が違ってきます。
- 化学薬品(ベンジン、シンナー、アルコール類、洗剤等の有機溶剤)で洗うと、化学変
化で時計が劣化することがありますので、ご注意ください。

〈革バンド〉

柔らかい布などで水分を吸い取るように軽く拭いてください。こするように拭く
と色落ちしたり、ツヤがなくなったりする場合があります。

〈金属バンド〉

柔らかい歯ブラシなどを使い、部分水洗いなどのお手入れをお願いします。洗浄
後は吸湿性の良い柔らかい布で水分を十分にふき取ってください。非防水時計の
場合は、時計本体に水分がかからないようにご注意ください。

〈軟質プラ製バンド〉

蛍光灯や太陽光の下に長時間放置したり、汚れが染み込んだりすることによっ
て、色あせ・変色や硬くなったり切れたりする場合があります。特に、半透明のウ
レタン製のバンドは、変色が目立ちやすく、使用条件によっては数ヶ月で起こり
始める場合があります。湿気が多い場所に保管したり、汗や水に濡れたまま放置
しておくと、早く変化することがありますので、汚れた時は、石けん水で洗ってく
ださい。バンドは化学合成製品ですので、溶剤によっては変質することがありま
すのでご注意ください。

かぶれやアレルギーについて



- バンドは多少余裕を持たせ、通気性をよくしてご使用ください。
- かぶれやすい体質の人や、体調によっては、皮膚にかゆみやかぶれをきたすこ
とがあります。
- かぶれの原因として考えられるのは、
 - ①金属・皮革に対するアレルギー
 - ②時計本体やバンドに発生した錆、汚れ、付着した汗などです。
- 万一肌などに異常が生じた場合は、ただちに使用を中止して、医師にご相談ください。

防水性能

時計の文字板または裏ぶたにある防水性能表示をご確認の上、使用可能範囲にそっ
て正しくご使用ください。

時計の防水表示	使用例		洗顔や雨など 一時的に かかる水滴	水泳や水仕事など 長時間水に ふれる場合	空気ポンペを 使用しない スキンダイビング
	防水の水準				
WATER RESISTANTの 表示のない時計	非防水		×	×	×
WATER RESISTANTの 表示のある時計	日常生活用防水		○	×	×
WATER RESISTANT 5・10・15・20ATMの 表示のある時計	日常生活用 強化防水	5気圧防水	○	○	×
		10・15・20 気圧防水	○	○	○

時計の防水表示	使用例		空気ポンベを使用する本格的な潜水およびヘリウムガスを使用する潜水(飽和潜水)	水滴がついた状態でのボタンの操作	水滴がついた状態でのリュウズの操作
	防水の水準				
WATER RESISTANTの表示のない時計	非防水		×	×	×
WATER RESISTANTの表示のある時計	日常生活用防水		×	×	×
WATER RESISTANT 5・10・15・20ATMの表示のある時計	日常生活用強化防水	5気圧防水	×	○	×
		10・15・20気圧防水	×	○	×

警告

- 日常生活用強化防水(10・15・20気圧防水)の時計は、飽和潜水や空気潜水には絶対に使用しないでください。
- 日常生活用強化防水(5気圧防水)の時計は、素潜りを含め、すべての潜水行為には絶対に使用しないでください。
- 日常生活用防水(3気圧)の時計は、水の中に入れてしまうような環境では絶対に使用しないでください。

注意

- 日常生活用強化防水の時計を海水等の環境下での使用後は、なるべく早く塩分などを洗浄してください。錆の原因となる場合があります。水道蛇口下での洗浄は、過度な水圧が加わり、防水不良の原因となる場合がありますので、容器内洗浄で過度な水圧が加わらぬように注意してください。
- 革バンドは材質の特性上、水にぬれると耐久性に影響が出る場合があります。

保管について

時計を使用しない時は、次の事項が、時計の破損や劣化、故障の原因等となる場合がありますのでご注意ください。

- 「-5℃~+50℃からはずれた温度」環境下では、性能が劣化したり、停止する場合があります。
- 直射日光の当たるところ、高温になるところ、低温にあるところに長時間置くと時刻精度の遅れや進みの原因となる場合があります。
- 磁気の影響(テレビ、スピーカ、携帯電話、磁気ネックレス等)があるところに放置すると、時刻精度の遅れや進みの原因となる場合があります。
- 強い振動のあるところに放置すると、破損や時刻精度の遅れや進みの原因となる場合があります。
- 薬品の蒸気が発散しているところや薬品に触れるところに放置すると時計の劣化や破損の原因となります。
薬品例)ベンジン、シンナー、マニキュア、化粧品などのスプレー液、クリーナー剤、トイレ洗剤、接着剤、水銀、ヨウ素系消毒液、防虫剤など
- 温泉入浴、殺虫剤の入った収納場所など、特殊な環境に放置すると時計の劣化の原因となる場合があります。
- 長時間時計を外しておく時は、箱などに入れて、風通しのよい場所に保管することをお勧めします。